

令和8年3月31日  
政策統括官付地理空間情報課

## 国土数値情報のデータ公開・整備予定のお知らせ

### ～道路、浸水想定区域等の最新のGISデータを公開します～

- ・国土交通省では、国土に関する基礎的な地理空間情報をGISデータに整備し、国土数値情報として、ダウンロードサイト上で無償提供しています（別紙を参照）。
- ・この度、洪水浸水想定区域、土砂災害警戒区域等の**最新版データを4～5月にかけて順次公開**します（**30年ぶりに更新整備した道路データ**や、**新規に整備した宅地造成等工事規制区域・特定盛土等規制区域データ、0次谷データ**が含まれます）。
- ・また、令和9年度以降の公開に向けて、**AIによる衛星画像判読技術を活用した土地利用データの更新等のデータ整備に着手**します。

#### 1. 令和8年度公開予定データ：

- ・ 令和7年度に整備した以下のデータセットを、令和8年4～5月にかけて順次公開します。
- ・ 他にも、都道府県地価調査データを令和8年9月に、地価公示データを令和9年3月に公開予定です。

カテゴリ	データセット
災害リスク	洪水浸水想定区域（河川単位／1次メッシュ単位）※1、多段階浸水想定、雨水出水（内水）浸水想定区域、土砂災害警戒区域、 <b>宅地造成等工事規制区域・特定盛土等規制区域、0次谷</b>
交通インフラ	<b>道路</b> 、鉄道、鉄道時系列、駅別乗降客数、高速道路時系列
行政地域、土地利用	行政区域、位置参照情報、国有林野

※1：洪水浸水想定区域（河川単位）は、今回のデータ公開に加え、令和8年11月に追加分のデータを公開予定です。

#### 2. 令和8年度整備予定データ：

- ・ 令和9年度以降の公開に向けて以下のデータセットの整備に着手します。**土地利用データの更新においては、AIによる衛星画像判読技術を活用した新たな整備手法を導入**します。

分類	データ項目
災害リスク	洪水浸水想定区域（河川単位／1次メッシュ単位）、津波浸水想定、高潮浸水想定区域、多段階浸水想定、雨水出水（内水）浸水想定区域
交通インフラ	鉄道、鉄道時系列、駅別乗降客数
行政地域、土地利用	行政区域、 <b>土地利用</b>

#### 3. 公開先：国土数値情報ダウンロードサイト (<https://nlftp.mlit.go.jp/>)

##### ◆ 地理空間情報課 X公式アカウント



[https://twitter.com/GIS\\_MLIT](https://twitter.com/GIS_MLIT)

##### 【問合せ先】

政策統括官付 地理空間情報課 諏訪、浅田  
代表：03-5253-8111（内線 29-822、29-815）  
直通：03-5253-8353

国土交通省では、国土に関する基礎的な地理空間情報(地価、人口、都市計画、災害リスク情報、交通インフラ、公共施設 等)を、「国土数値情報」として全国統一フォーマットのGISデータに整備し、無償で提供しています。国土・地域計画策定における利用、民間でのビジネス利用や、研究等に幅広く活用されています。

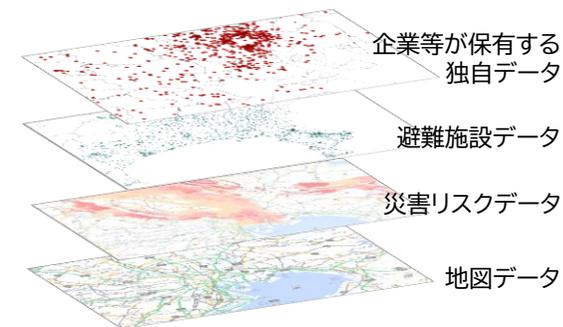
## GISとは

GIS(Geographic Information System・地理情報システム)は「GISソフト」「地図データ」「GISデータ」から構成され、位置情報を持つデータの管理・加工、視覚的表示、空間的分析によって、的確・迅速な意思決定を可能にする技術です。

### GISの主な用途

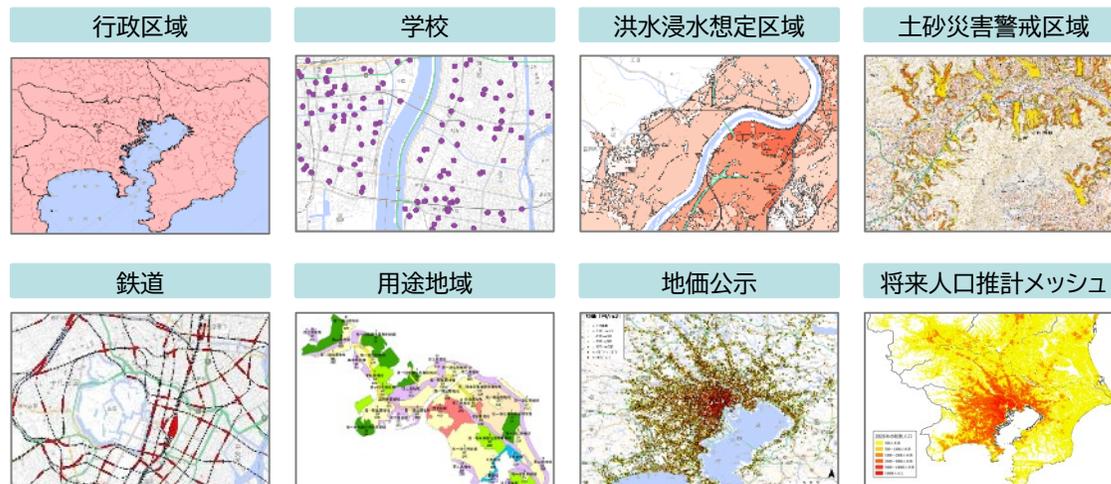
- 情報の管理(モノ・コトに関する様々な属性情報と場所を紐付けて記録・管理)
- 情報の可視化(モノ・コトを地図上に視覚的に表示し、状況を空間的に把握)
- 情報の空間解析(モノ・コトの距離・重なり等の位置関係に基づき、情報を計算・抽出)

【GISデータを用いた可視化・分析イメージ】



## 国土数値情報のデータ項目:約190種類(令和8年4月現在)

土地利用	土地利用、森林地域、国有林野、農業地域 など
行政地域	行政区域、小学校区、中学校区、人口集中地区 など
公共施設	市町村役場、警察署、郵便局、医療機関、福祉施設 など
災害リスク	洪水・津波・高潮浸水想定区域、土砂災害警戒区域 など
交通	道路、鉄道、駅別乗降客数、バスルート、空港、港湾 など
水域・地形	河川、湖沼、海岸線、ダム、標高・傾斜度 など
都市計画	用途地域、立地適正化計画区域 など
地価	地価公示、都道府県地価調査
その他	将来人口推計メッシュ など



# 国土数値情報の利用状況等

当初、国土計画策定のために整備していたデータを、2001年より一般向けに公開開始。近年、GISの普及とともに民間企業やメディア報道における利用事例も増え、ダウンロード数が急増しています。(2009年度 約50万件 → 2025年度 約265万件 ※見込み)

## 国土数値情報のこれまで

### 1974年 国土計画策定のためにデータ整備を開始

- ・国土に関する資料の不足や地域開発に関する科学的方法論の欠如の指摘を受け、データ整備を開始(土地利用データ等)
- ・整備したデータは公共機関や研究機関に限定して申請に基づき提供

### 2001年 ダウンロードサイトを開設、オープンデータ化

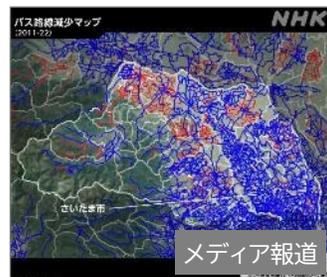
- ・GISホームページ(現:国土数値情報ダウンロードサイト)を開設し、一般向けに国土数値情報のダウンロードが可能に

### 2010年・2016年 データ提供形式の多様化

- ・シェープファイル(Shape)形式での提供開始(2010年)
- ・GeoJSON形式での提供開始(2016年)

### 2023~2024年 これからの国土数値情報の検討

- ・「今後の国土数値情報の整備のあり方に関する検討会」の設置



## 国土数値情報のダウンロード数

